

質問 治山事業について、岩手県との連携をはじめ、治山ダム の現状と老朽化対策への情報共有はどうか。

答弁 治山事業が必要と思
われる箇所は事業実施者の岩
手県に要望している。県から
は「経過観察し、緊急性を見



畠山 恵美子
(翔 成)

極める」との回答を得ている。

市としては、国の防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策で、治山対策を重点的に取り組む事業に位置付けており、早期に事業採択されるよう、引き続き県に地域の声を届けていく。

現在、市内に県所管の治山ダムは168基設置され、県が随時、目視や打音調査など、点検をしている。県は治山施設個別施設計画に沿い、計画的で効率的な維持管理を推進するとしており、市としても、早期の対策がなされるよう、随時、実施している林道パトロール等により、現地の情報収集に努める。

山地災害の防止は

質問 山地災害の防止機能、土壌や生物多様性の保全機能を強化していくための課題と施策の検討はどうか。

答弁 森林は、枝葉が雨水を遮断することで地表に直接到達する降水量を減少させ、コケ類などの生育や落葉の堆積により保水能力が確保されている。表面浸食の防止につながるほか、土壌層に面的に広がる根の働きにより表層の崩壊を防ぎ、さまざまな動植物や微生物の生育・生息の場となるなど、多面的な機能を持つている。



治山ダム（竹駒町滝の里）

公立保育所の民営化は

サービスの充実に向け検討

質問 少子化の進行と保護者要望の状況から、市として公立保育所の民営化を検討すべきと思うかどうか。

答弁 保護者が希望する特色ある保育の実現を条件に広く公募し、保育サービスの充実に併せて雇用環境

の充実が図られるよう検討する。

質問 児童数の減少による統廃合や経営効率化などの検討状況はどうか。

答弁 具体的な統廃合は検討していないが、施設の入所人員が20人を下回る場合は、3歳未満のみ入所する小規模保育所への転換等について、

の増員が不可欠で、現状は難しい。

また、英語教育など、特色ある保育の実現のためには都市部で保育サービスの充実を競っている法人の経験を活用したり、市内の英語塾やスポーツクラブ等と連携する計画などがあれば、その支援を含め検討したい。



市内の保育施設



伊藤 明彦
(新 志 会)

市保育協会内での検討を促し、1町1施設を維持したい。

質問 保護者から要望があつた保育サービスの充実を、どのように行っていくのか。

答弁 昨年度から病後児保育事業を開始するなど、保育環境の改善に努めている。延長保育の時間延長等は保育士

質問 保育施設等での新型コロナウイルス感染症の防止強化策は。

答弁 基本的な対策として、職員の出勤前の体温測定、マスクの着用、保育室の換気と手指消毒の徹底のほか、児童帰宅後の施設内消毒とおもちゃの消毒を行っている。

小学校の統廃合は

質問 小学校の統廃合に係る考え方は。

答弁 今後の児童数の推移や学校教育の展開を未就学児の保護者や地域にも情報提供し、議論を重ねていく。

復興対策特別委員会

職業訓練校の新校舎を訪問

復興対策特別委員会（委員長・大坂俊副議長、議長を除く全議員で構成）

は9月17日、東日本大震災からの復興状況を把握するため、JR陸前高田駅付近に新しく整備された陸前高田高等職業訓練校を訪問しました。

委員は、同校を運営する陸前高田職業訓練協会の村上義文会長に施設内を案内してもらいながら話を聞きました。

村上会長は、再建するまでの苦勞を交えながら同校の歴史を説明。現在は建築や左官など7科の認可を受けており、20歳代から30歳代までの3人が木造建築の

技術習得を目指して学んでいると話しました。

昭和45年に開校した同校は震災前、旧高田中学校の校舎を活用していましたが、津波で全壊してしまいました。その後、一時休校を余儀なくされましたが、平成27年度からは小友町の杉の家はこねを間借りして開設していました。

本年6月に完成した新校舎は、高田町の中心市街地に近い場所に建設。木造平家建てで、延床面積は219・53平方^{トル}。敷地面積は1464・32平方^{トル}です。

施設内には実技訓練室をはじめ、多目的訓練室、学科訓練室、加工機械室兼工具室、事務室兼会議室兼指導員控室兼書庫が各1室ずつ

つ設けられています。

周辺には気仙大工の伝統技術が取り入れられた施設が整備されており、調和したデザインで統一されています。子どもや観光客に多目的訓練室を開放することで、気仙杉に触れ合える木育施設となっています。

委員は気仙大工の伝統技術がふんだんに取り入れられた木の香り漂う校内を視察しながら、一人でも多くの職人が巣立っていくことを期待しました。

